



【読書】キャラクター「おっほん」

おっほんシート

札幌市立もみじの森小学校

読書センターとしての機能

【もっとたくさんの人に本の魅力を！】

図書委員会では、「できるだけ多くの人たちに、本を楽しんでほしい！」という願いのもと、図書館の本を題材としたクイズを掲示したり、スタンプラリーを企画したりしました。スタンプラリーの景品にした手作りのしおりの効果もあり、たくさんの子どもたちが図書館を訪れ、以前よりも図書館が賑わいました。



【ボランティアさんや担任による読み聞かせ】

読書週間の取組として、読み聞かせボランティアさんが各学級に読み聞かせに来てくださいました。

また、各担任が読み聞かせた本を図書館前で紹介していただきました。



学習センターとしての機能

【教科書にある本コーナー】

各学年で学習する物語や題材、作者や筆者に関連する本を一つのコーナーにまとめています。新しい教科書にも対応させており、興味をひかれた題材をすぐに手にとることができます。一目で分かるよう、司書の方々が学年ごとにカラーテープを貼ってくださいました。



【作者の世界に浸ろう】

6年生は、国語「やまなし」の学習中、宮沢賢治の本を並行読書しました。宮沢賢治の個性的な表現を味わい、お話の世界に引き込まれていました。



情報センターとしての機能

【国語「未来につなぐ工芸品」】

4年生の国語の学習で、工芸品について調べました。分かりやすい文や写真で説明された本を活用し、詳しく知ることができました。学んだことを生かして、それぞれが選んだ工芸品についてリーフレットにまとめました。



【国語「じどうしゃくらべ」

「どうぶつのあかちゃん」】

1年生では、国語の題材「じどうしゃくらべ」の学習のあとに、図書館にある本を使って様々な自動車の特徴について調べました。教科書には出てこなかった自動車もたくさんあり、より知識が増えました。また、「どうぶつのあかちゃん」でも、学習のあとに、図書館にある本を使って様々な動物の赤ちゃんについて知りました。肉食動物と草食動物の赤ちゃんの違いが比べられるような本もあり、より深く学ぶことができました。